



阿南高専のプログラミング出前授業（6年生）！

12月4日（水）、阿南工業高等専門学校（阿南高専）の香西先生と他2名の先生方をお招きして、「プログラミングの出前授業」を行いました。

プログラミング出前授業の内容は、「光センサーと人感センサーを用いたプログラム体験」として、理科の学習として行いました。

教材としては、「スペースブロック」を使用しました。スペースブロックとは、「自分で学び、自分で理解していく」というプログラミングの教材です。専用のマイコンボードとパソコン（6年生の子どもたちはタブレットを使用しました。）を使ってブロックを組み立てるようにプログラミングをします。自分たちの生活している身近に存在する機械が、「どのような仕組みで動き、そのためには何が必要か」といったことについて、体験しながら理論的に『プログラミング的思考』へとつなげていくというものです。

また、阿南高専の香西先生からは、「身近にあるコンピュータがどのように動いているのか」についても教えて頂きました。

コンピュータを動かすためのプログラムには、大きく分けて3つの動きがあるそうです。それが、①「順序」②「分岐」③「繰り返し」だそうです。このことについて、6年生が、今回の出前授業で「スペースブロック」という教材を用いて体験しました。

子どもたちは、日頃からタブレット操作に親しんでいるので、今回の学習でも楽しみながら自分でどんどん操作し、工夫しながら取り組んでいました。

子どもたちからは、「楽しみながら学習できた。」「自分でいろいろと工夫しながらできてよかった。」「もっといろいろなことをやってみたい。」という感想が多く聞かれました。



【阿南高専の先生方、「楽しいプログラミングの出前授業」ありがとうございました。】